

晒されたのは“画像”じゃない、人生だった —デジタル性暴力をめぐる社会—



<講師>

NPO法人ぱっぷす 内田絵梨氏

<プロフィール>

NPO法人ぱっぷす相談支援主任。若年女性からの被害相談、特にデジタル性暴力に関する支援経験を重ねる。被害者支援の現場から、デジタル性暴力や性的搾取にまつわる問題を広く発信したいと考えている。2021年NHKと共同で行った「SNS上で児童に近づく加害者の実態調査」では中心的な役割を担った。

ぱっぷすは「デジタル性暴力」（リベンジポルノ・盗撮など）の相談支援、本人の意に反して拡散したインターネット上の性的画像の削除要請のサポートや刑事事件化に関する支援などを行っている東京の非営利の民間団体です。

近年、スマートフォンやPC、デジタルデバイスなどが生活の中で欠かせなくなり、それによる被害も増えています。

ぱっぷすの活動の報告を聞きながら、このデジタル・ITテクノロジーによる画像拡散や監視・中傷被害などの問題について考えます。

開催日時（対面開催）

2025年6月4日（水）12：50～14：20

対象：広島大学の学生・教職員、一般の方

会場：広島大学 東広島キャンパス

総合科学部 L102講義室

定員：100人程度

お申し込みはQRコードから

6月2日（月）締切



※本セミナーは「ジェンダーと社会」の講義の一環ですが、この日のみ公開します。（要事前申込）

【主催・お問い合わせ先】広島大学 男女共同参画推進室 担当：田中

【Tel】 082-424-4355 【E-mail】 syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp